

日商簿記検定2級合格 生徒の感想

本校は、総合学科という特性上、2年次になると理系進学・文系進学・ビジネス系列（簿記モデル・流通モデル）・情報系列・福祉保育系列の5系列に分かれて授業を受けます。その中で、ビジネス系列簿記モデルは1年次の系列として10月から簿記という科目を勉強し、簿記検定を受験します。

簿記には、全国商業高等学校協会が主催する検定と、日本商工会議所が主催する簿記検定があります。

平成27年度の3年次生簿記モデルは日本商工会議所主催の簿記検定に平成26年11月から受験をしました。11月には3名、平成27年2月には5名の生徒が合格しました。そして、この6月には6名受験をして全員が合格しました。

検定を終えた生徒2名に感想を聞きました。2年次生・1年次生の励みになるかと思えます。

日商簿記検定を終えて

3年Aさん

1回目のときは「受けてみよう」という軽い気持ちでした。日商は全商と違うところがたくさんありました。しかし、基本的なことは全商の範囲だったので、正直なところ、簡単なのでは？と思っていました。

日商の学習に入って、やっぱり難しいなと感じました。他のみんなは答えられているのに、私は答えられるのが少なく、焦りました。そして、1回目に受けた検定で3名が合格し、本当に「すごい」と思っていました。それから2回目の検定に向けて学習しました。私なりに一生懸命やったのですが、結果は不合格でした。それが本当に悔しくて、涙が出ました。

3回目の学習の中で、辛くなることも多々ありました。授業担当の先生は、生徒同士を担当制にして、先に受かった人に教えてもらう機会を設けら



れました。私は担当の人や、先生方に質問をしました。

その学習の結果、今回の検定でやっと合格することができました。しかも6人受験して、6人全員合格ということにとっても感動しました。みんな辛くなったり、不安になったり、「今までこんなに学習をしたことがなかった。」などと言っていました。でも、諦めずにやってきたからこそ、結果がついてくるのだと思いました。

今まで指導して下さった先生方、担当をしてくれた方、心配してくれた家族。ありがとうございました。

次は、全経の検定に向けて頑張ります。

日商簿記検定に合格して

3年Bさん

今、私は3度目の受験で合格することができてやっと一安心して終わることができました。

日商の勉強を始めた時は正直、全商も日商も変わらないだろうと思っていました。しかし、検定問題に取り組んでみると、頭が真っ白になり、先生に解答を問われても何も答えられない状態で不安が募るばかりでした。周りは解けているのに自分だけ解けないのがとても悔しかったです。

2回目で合格したいと思い、本気になって猛勉強もしましたが、1回目と同じく2回目も不合格の結果が届きました。結果を知り、本気で取り組んでやってきた分、ショックはとても大きかったです。「もう次は受けたくない」と思っていたのですが、簿記を指導して下さっている先生が『受かるまで面倒みる』と言って下さったので、もう一度本気になって頑張ろうと思うことができました。この時から今までの学習姿勢の改善点を見直して毎日問題に取り組んだ結果、ついに合格することができました。

約1年間勉強をしてきて先生には何度も厳しく言われたり、家族や部活動の顧問にも迷惑をかけてきてしまいましたが、合格を報告した時に自分のことのように喜んで下さったのが、嬉しかったです。

合格する過程で、倒れそうにもなりましたが、先生方や家族、同じ系列の仲間等の支えがあったおかげでここまでくることができました。

次は全国経理教育協会の資格に挑むので、尻を叩かれて動くのではなく、自分自身で動いて一発合格できるよう頑張っていきたいです。

